

チャペル週報

「わたしは裸で母の胎を出た。
裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。
主の御名はほめたたえられよ。」

(ヨブ記 1:21)



ランバス記念礼拝堂

2008.10.20～10.24 No.17
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 10月20日(月) ランバスチャペルアワー「あなたが今ここにいる理由」ランバス記念礼拝堂
神 杉野達也(神4)
経 辻学(広島大学大学院教授)
人 ランバスチャペルに合流
-
- 10月21日(火) 神 宮川真一(JOCSバングラデシュワーカー・医師)
文 田淵結(宗教主事)
社 上ヶ原フィルハーモニック
法 栗林輝夫(宗教主事)
経 人間を考える① 杉山直人(経済学部教授)
商 安田聡子(商学部専任講師)
総 Joseph DeChicchis(総合政策学部教授)、今泉信宏(宗教主事)
-
- 10月22日(水) 神 『主の祈り』シリーズ③ 神田健次(神学部教授)
社 宗教総部によるチャペル
法 } 法学部・経済学部合同チャペル 於:法学部チャペル
経 } 「グアテマラ・マヤ先住民族女性の声-勇気を受け継ぐII-」ロサ・ベレス=トフ
商 望月康恵(法学部教授)
人 秋の音楽チャペル(ゴスペルクワイア)
理 学生礼拝 理工学部聖書研究部
総 Paul R. Hays(総合政策学部教授)
-
- 10月23日(木) 神 秋の音楽チャペル バロックアンサンブル
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宣教師)
社 いのちを考える⑥ 島村恭則(社会学部教授)
法 栗林輝夫(宗教主事)
経 人間を考える② 上村敏之(経済学部准教授)
商 English Chapel Richard J. Stinson(宣教師)
総 今泉ゼミ3年生[海外授業]
-
- 10月24日(金) 院 中道基夫(神学部准教授)
神 咸美羅(M2)
文 } 文学部・経済学部合同チャペル
経 } ピアノ&チェロ コンサート 於:ランバス記念礼拝堂
人 陳礼美(人間福祉学部准教授)
理 「分離壁を超えて」松木真一(宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

10月24日(金) 文学部のために

大橋毅彦

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～

於:宗教主事室

doingの価値、beingの価値

古 田 晴 彦

格差社会、成果主義、競争原理、自己責任……このような言葉が毎日のように私たちの目や耳に飛び込んでくるようになった。出発の平等が保障されているのならまだしも、親の経済力によって子どもの将来が決定されてしまうような「格差の固定化」も指摘されている。1986年の労働者派遣法の施行により、労働市場は多様化・複雑化し、働き続けているのに貧困から抜け出せない「ワーキング・プア」と呼ばれる人々の増加も深刻な問題となっている。貧困は、その全てを「自己責任」と言い切れる問題ではない。個人がバラバラにされたことにより、構造的な問題が見えにくくなっている。

気になっていることがある。スクール・モットーであるMastery for Serviceも、「社会に貢献できる実力を身につける」、このことばかりが強調されすぎているのではないか。貢献する、役に立つ、力を持つ… これらは言わば、何かをすることの価値、doingの価値である。

「あなたは、あなただから尊い」「あなたは存在しているだけで価値がある」「あなたの存在が私を支えている」存在の価値、beingの価値を、イエス・キリストは聖書の中から私たちに投げかけているはずである。新月徽の意味についても、「満月を目指そう！」ということばかりが強調されているように感じる。より重要なメッセージは、「自己中心で凝り固まっている私たちの内に光はない。神からの光を反射することによって、暗い社会を少しでも照らす存在となりたい」という人間理解と祈りの中に込められている。

自分のエネルギーが充実しているときに、刺激を与えてくれる人は沢山いる。しかし、自分が弱っているときに、「側にいてほしい」と思える人は少ない。高等部出身の大学4年生は、私が初めての学年主任として送り出した人たちである。beingの価値が、自分にも分かり、それを見ている周囲の人にも分かる、そんな「ひとり」として社会に出て行ってほしい。

「わたしの目にあなたは価高く、貴い」（旧約聖書 イザヤ書 43：4）

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」（マタイ 11：28）

（高等部教諭）

写真展「対岸の肖像～BURAKUとのかけ橋～」とスライド上映、
トークセッションの開催について

・写真展

開催期間：2008年10月20日（月）～29日（水）（日曜日は休館）
開催時間：午前9時（初日は0時30分）～午後10時（土曜日は午後6時30分まで）

会 場：関西学院大学図書館エントランスホール

・スライド上映、トークセッション

開催日時：2008年10月27日（月）午後3時15分～6時

会 場：関西学院大学図書館ホール

トーカー：関西学院大学学生有志、部落解放同盟兵庫県連合会青年部有志
ナビゲーター：阿部 潔（関西学院大学社会学部）

共 催：関西学院大学人権教育研究室、ひょうご部落解放・人権研究所
<吉岡記念館、部落解放・人権教育研究推進・兵庫県大学連絡会第1回例会企画>
協 力：関西学院大学図書館、関西学院大学生生活協同組合

お問い合わせ：関西学院大学人権教育研究室（0798-54-6720）

一般参加可・申し込み不要

CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCD
やDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）
であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、
使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ
吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

大阪梅田キャンパスチャペルアワー

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、
下記のとおりチャペルアワーを開催しています。どうぞご参加ください。

10/24（金）田淵 結（大学宗教主事）

10/31（金）アンドレアス・ルスターホルツ（宣教師）

いずれも18:00～18:20 1405教室にて